

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日
東

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 繁
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,180	70.4	511	—	479	—	284	—
26年3月期第1四半期	1,866	3.8	△71	—	△47	—	△69	—
(注) 包括利益 27年3月期第1四半期	328百万円(589.7%)			26年3月期第1四半期		47百万円(—%)		

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	20.27	—
26年3月期第1四半期	△4.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	17,306	8,139	46.8
26年3月期	17,080	8,189	47.7
(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期	8,096百万円		26年3月期 8,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	27.00	47.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	25.00	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	37.5	1,100	90.7	1,100	83.1	640	75.6	45.66
通期	14,500	10.9	2,700	27.6	2,700	19.1	1,560	16.7	111.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	14,200,000株	26年3月期	14,200,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	184,556株	26年3月期	184,556株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	14,015,444株	26年3月期1Q	14,015,444株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国及び東南アジアの自動車及びタイヤメーカーを中心とした設備投資が、前連結会計年度に引き続き堅調に推移いたしました。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した研究開発分野への集中が依然として続いております。

このような状況のもと、当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンと共に、研究開発用の各種電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を積極的に展開し、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの生産ライン向けタイヤ関連試験機及び国内自動車部品メーカーより電気サーボモータ式振動試験機を中心に49億9百万円（前年同四半期比6.4%減）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、31億8千0百万円（前年同四半期比70.4%増）、営業利益は5億1千1百万円（前年同四半期は7千1百万円の損失）、経常利益は4億7千9百万円（前年同四半期は4千7百万円の損失）、四半期純利益は2億8千4百万円（前年同四半期は6千9百万円の損失）となりました。

売上高につきましては、中国及び東南アジアのタイヤメーカーへの生産ライン用タイヤ関連試験機の出荷が好調に推移したことにより、前年同四半期と比較して増加しております。

利益面につきましては、海外への出荷に伴う費用の増加や為替差損が発生したものの、増収の影響により前年同四半期と比較して増加しております。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国及び東南アジアの中堅タイヤメーカーへの生産ライン用タイヤ関連試験機の出荷が、好調に推移いたしました。その結果、売上高は29億2千5百万円（前年同四半期比76.3%増）、セグメント利益（経常利益）は9億4千7百万円（前年同四半期比147.8%増）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

官公庁などからの材料試験機の受注は堅調に推移しておりますが、海外向けの大型案件の納入については、第3四半期以降を予定しております。その結果、売上高は3千8百万円（前年同四半期比66.1%減）、セグメント損失（経常損失）は6千9百万円（前年同四半期は5千3百万円の損失）となりました。

〔米国〕

米国及び日系の大手自動車メーカー、タイヤメーカーからのバランスングマシンの受注が、前連結会計年度に引き続き堅調に推移したものの、大型案件の納入は第2四半期以降を予定しております。その結果、売上高は1億1千2百万円（前年同四半期比15.7%減）、セグメント損失（経常損失）は4千9百万円（前年同四半期は6千4百万円の損失）となりました。

〔韓国〕

韓国大手自動車メーカー及びタイヤメーカーからのバランスングマシンの受注が、好調に推移いたしました。その結果、売上高は7億6千9百万円（前年同四半期比114.9%増）、セグメント利益（経常利益）は1億8百万円（前年同四半期比51.5%増）となりました。

〔中国〕

家電及び自動車部品関連メーカーからのバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機の受注が、堅調に推移いたしました。その結果、売上高は1億8千7百万円（前年同四半期比33.5%増）、セグメント損失（経常損失）は2千4百万円（前年同四半期は7百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、120億7千3百万円（前連結会計年度末比2億8千8百万円増）となりました。これは、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比12億4千4百万円減）したことや売上の計上により商品及び製品が減少（前連結会計年度末比1億3百万円減）したものの、受注残高の増加により仕掛品が増加（前連結会計年度末比9億1千7百万円増）したことや売上債権の回収により現金及び預金が増加（前連結会計年度末比6億9千4百万円増）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、52億3千2百万円（前連結会計年度末比6千3百万円減）となりました。これは、保険の解約により保険積立金が減少（前連結会計年度末比3千1百万円減）したことや減価償却累計額が増加（前連結会計年度末比2千6百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、70億7千7百万円（前連結会計年度末比4億4千6百万円増）となりました。これは、法人税等の納付により未払法人税等が減少（前連結会計年度末比5億8千9百万円減）したものの、運転資金の調達により短期借入金が増加（前連結会計年度末比4億3千万円増）したことや仕入の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比3億8百万円増）したこと、並びに受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比2億2千9百万円増）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、20億8千8百万円（前連結会計年度末比1億7千0百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金へ振替えたことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比1億6千8百万円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、81億3千9百万円（前連結会計年度末比5千0百万円減）となりました。これは、円安ウォン高等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比2千7百万円増）したことや株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比1千9百万円増）したものの、期末配当の実施により利益剰余金が減少（前連結会計年度末比9千4百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,234,239	4,928,658
受取手形及び売掛金	4,007,776	2,762,854
商品及び製品	289,902	186,530
仕掛品	2,070,209	2,987,541
原材料及び貯蔵品	531,791	552,766
繰延税金資産	288,770	324,212
その他	369,481	335,279
貸倒引当金	△7,223	△3,920
流動資産合計	11,784,948	12,073,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,417,269	2,423,488
機械装置及び運搬具	213,479	218,137
土地	1,316,645	1,318,099
リース資産	3,036	3,036
建設仮勘定	3,980	—
その他	160,037	171,137
減価償却累計額	△1,092,068	△1,118,082
有形固定資産合計	3,022,379	3,015,815
無形固定資産		
リース資産	1,993	1,860
その他	64,687	63,690
無形固定資産合計	66,680	65,551
投資その他の資産		
投資有価証券	152,402	173,972
長期貸付金	30,282	26,907
繰延税金資産	23,727	23,713
保険積立金	1,812,673	1,781,372
その他	301,111	253,776
貸倒引当金	△113,570	△108,835
投資その他の資産合計	2,206,626	2,150,906
固定資産合計	5,295,686	5,232,273
資産合計	17,080,635	17,306,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,538,053	2,846,461
短期借入金	290,000	720,000
1年内返済予定の長期借入金	744,468	709,468
リース債務	1,195	1,195
未払法人税等	834,504	245,358
賞与引当金	142,630	234,503
製品保証引当金	188,400	201,700
前受金	1,453,797	1,682,898
その他	438,823	436,330
流動負債合計	6,631,873	7,077,917
固定負債		
長期借入金	1,746,408	1,577,791
リース債務	3,288	2,989
繰延税金負債	112,904	111,174
役員退職慰労引当金	152,623	155,063
退職給付に係る負債	233,222	230,953
資産除去債務	10,768	10,824
固定負債合計	2,259,214	2,088,796
負債合計	8,891,088	9,166,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	6,294,092	6,199,716
自己株式	△150,957	△150,957
株主資本合計	8,102,635	8,008,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,734	66,809
為替換算調整勘定	△6,291	21,230
その他の包括利益累計額合計	41,442	88,040
少数株主持分	45,468	43,185
純資産合計	8,189,546	8,139,483
負債純資産合計	17,080,635	17,306,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,866,178	3,180,599
売上原価	1,223,283	1,864,798
売上総利益	642,894	1,315,800
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	76,394	97,662
貸倒引当金繰入額	5,452	—
役員報酬	41,835	46,530
給料手当及び賞与	146,950	150,289
賞与引当金繰入額	35,229	33,654
退職給付費用	13,036	3,640
役員退職慰労引当金繰入額	2,400	2,440
運賃	73,005	142,107
減価償却費	8,706	9,981
研究開発費	4,084	316
その他	307,167	317,522
販売費及び一般管理費合計	714,262	804,143
営業利益又は営業損失(△)	△71,368	511,656
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,383	12,540
為替差益	27,072	—
貸倒引当金戻入額	—	11,122
その他	15,662	4,935
営業外収益合計	53,118	28,599
営業外費用		
支払利息	7,752	5,889
持分法による投資損失	5,562	7,167
売上債権売却損	2,252	3,170
為替差損	—	34,323
保険解約損	8,330	2,656
その他	5,783	7,489
営業外費用合計	29,682	60,695
経常利益又は経常損失(△)	△47,931	479,560
特別損失		
固定資産除却損	155	439
特別損失合計	155	439
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△48,086	479,121
法人税、住民税及び事業税	91,532	244,785
法人税等調整額	△70,099	△48,150
法人税等合計	21,432	196,634
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△69,519	282,486
少数株主利益又は少数株主損失(△)	316	△1,554
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,835	284,040

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△69,519	282,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,470	19,075
為替換算調整勘定	117,277	27,595
持分法適用会社に対する持分相当額	1,323	△803
その他の包括利益合計	117,130	45,867
四半期包括利益	47,611	328,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,326	330,637
少数株主に係る四半期包括利益	5,284	△2,283

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	1,375,115	114,641	133,419	149,742	89,018	1,861,936	4,241	1,866,178
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	284,830	—	—	208,270	51,478	544,578	7,817	552,396
計	1,659,945	114,641	133,419	358,012	140,496	2,406,515	12,059	2,418,574
セグメント利益 又は損失(△)	382,343	△53,481	△64,043	71,613	△7,088	329,344	△982	328,362

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	329,344
「その他」の区分の利益	△982
セグメント間取引消去等(注)	△376,293
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△47,931

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が286,905千円含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	2,723,084	38,870	112,308	197,045	101,490	3,172,800	7,799	3,180,599
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	202,697	—	201	572,410	86,026	861,336	17,060	878,396
計	2,925,782	38,870	112,510	769,455	187,517	4,034,136	24,860	4,058,996
セグメント利益 又は損失(△)	947,566	△69,806	△49,435	108,484	△24,005	912,803	9,163	921,967

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	912,803
「その他」の区分の利益	9,163
セグメント間取引消去等(注)	△442,406
四半期連結損益計算書の経常利益	479,560

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が339,728千円含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,682,926	+86.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	185,137	+2336.0	日本(国際)
材料試験機	38,870	△66.1	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	141,422	△23.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	132,239	+9.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	3,180,594	+70.4	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,670,116	△9.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	644,602	+29.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	222,342	+10.8	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	179,746	△36.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	192,298	△7.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	4,909,105	△6.4	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第1四半期連結累計期間末(平成26年6月30日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	10,741,599	+51.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,538,379	△23.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	642,205	+76.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	690,346	△1.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	128,239	+16.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	13,740,770	+34.0	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,682,929	+86.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	185,137	+2336.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	38,870	△66.1	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	141,422	△23.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	132,239	+9.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	3,180,599	+70.4	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。